

CST News Report

平成 24 年度 理数系教員養成拠点構築プログラム(福井大学)

2012.12.28

No.

since 2009.8.10

Contents

巻頭言 Topic CST養成事業の実績と可能性

『理科支援員とつくる理科授業』に

上級 CST 認定者・受講者が協力しました

Pick Up! 学校インターンシップ 博物館・科学館インターンシップ

受講者だより 海のふれあい教室「マナーを守って海釣り体験」ほか

『第2回 福井 CST シンポジウム』開催のご案内 ほか

巻頭言 CST 養成事業の実績と可能性

福井大学 理事(教育・学生担当) 寺岡 英男

この事業については、構想段階から大学や教育研究 所の方々から話をお聞きする機会もありましたが、以 降はや4年が経過し、JSTの財政支援も終わりとなる 段階を迎えています。しかし、先日出させていただい た連携協議会の場では、来年度以降も継続していく話 の中で、連携機関の方からも心強い発言を聞かせて頂 きました。

3つのコースで構成し、県内の実に幅広い諸機関とも連携し、地域支援拠点を中心に仕組みを作って、この間着実に実績を積み上げてこられたことに、敬意を表したいと思います。その中で、各コースごとの受講者実績、教員採用試験での CST 受講者の合格実績、長期インターンシップの実施、上級 CST による理科実験講習会の企画開催など、短期間でいろいろな成果が出ていると思います。

来年度から JST の財政支援が終わるという厳しい現

実もありますが、新たな予算獲得を目指すと同時に、新たな形態も入れた継続・発展の方向を探ることも必要かと思います。その点で参考となると思ったのは、今年2月に行われた CST シンポジウム福井大会で紹介された神奈川 CST プランの、大学院副専攻による理科教員養成の高度化の試みです。

ご承知のように、現在教員免許の修士レベル化を目指した政策化が中教審を中心に取組まれています。そうした中、この CST 事業のコースプログラムを、例えば履修証明プログラム等を利用し、大学院の教育課程の中に組み入れ、そこにすでに実績を作ってきている長期インターンシップも位置づけ、福井型の修士レベル化に伴う大学院教科教育の改革を構想していく、という可能性です。

これは1つの案ですが、この事業をぜひ積極的に継続・発展させる可能性を探って頂きたいと思います。



Topic

『理科支援員とつくる理科授業』の公開授業・講習会で 上級 CST 認定者・受講者が授業づくりへ協力しました

今年度も「わくわく理科授業応援事業」における理科支援員対象の訪問研修とコラボレーションした公開授業・研修会が、4つの地域支援拠点(明新小・成器南小・武生東小・小浜小)を含む県内6ヵ所で地域の教員を対象に開催されました。上級 CST は、このうち4つの研修会(明新小・高椋小・武生東小・弥美小)で、助言者や講師を務めたほか、事前準備等にも協力してよりよい授業づくりをともに目指しました。



奥越ブロック

平成 24 年度 小学校理科授業公開研究会

2012.10.23 勝山市立成器南小学校 上級 CST 受講者による公開 授業が、小学 5 年生「流れる 水のはたらき」の単元で行わ れました。公開授業後には、 奥越地区の教員 9 名と理科支 援員 7 名による授業研究会を 持ち、本時の目標である「モ デル実験から条件制御のする と」について意見を交わしました。また、教員対象の構 、本時の目標であるしました。また、教員対象の構 、本時の手に気がいて実験を計画する と」について意見を交の講 、本時の手上に気がいて実験を計画を と」について意見が象のは は、一次とした。また、 、本時の手力れました。



坂井ブロック

平成 24 年度 理科授業公開・研究会

2012.11.14

坂井市立高椋小学校

小学 5 年生『ふりこのきまり』の公開授業と研究会には、坂井地区の先生、理科支援員、初級 CST 受講者など約 30 人が参加しました。授業研究会では、手作りの実験器具の活用法や児童の考察力や探求心を高めるための工夫について意見を交わしました。また、上級 CST が理科支援員対象の協議に参加し、理科授業で大切にしたい点などについてアドバイスしました。

当日の様子は、福井新聞(平成24年11月21日付) でも報じられました。



Pick Up!

博物館・科学館インターンシップ 学校インターンシップ ~受講者・受入機関担当者のコメントをご紹介~

学校インターンシップでは、中級受講者 4 名が前・後期に分けて 2 校に、初級受講者 5 名が後期に取り組 んでいます。指導には、上級 CST1 名、上級 CST 受講者 8 名が当たるほか、県内小・中学校にもご協力いた だき実施しています。博物館・科学館インターンシップは、連携機関である福井県児童科学館を中心にして、 初級受講者2名が取り組んでいます。以下では、受講者と受入担当者のコメントをご紹介します。

中級プログラム受講者の感想

授業参観だけでなく,実験準 備や補助も経験させて頂き,理 科授業の楽しさと難しさの両方 を感じています。先生方の苦労 を目の当たりにし, 理科を専門 に学ぶ者として,将来は周りの 先生方を支えていける存在にな るよう, たくさん勉強しなけれ ばと意識が高まりました。

学校インターンシップ



受入担当者からのコメント

積極的にいろんな先生方の授 業を参観しながら、それぞれの 授業技術を学んでいるようで す。授業の中ではTTとして授 業の支援をしていただくだけで なく,実験の準備・後片付けか ら、液体窒素など教材の面でも 協力してもらうなど、自らよく 動いてくれています。



学校インターンシッフ



永平寺町松岡中学校

初級プログラム受講者の感想

授業の補助と準備を担当する ことで, 子どもの反応と教師の 支援を同時に感じることがで き,教育実習とはまた違った感 覚を受けています。授業を教室 の後ろから見ていると、客観的 に見ることができるので、さま ざまなことを発見できる良い機 会となっています。

博物館・科学館 福井県児童科学館



Info

受入担当者からのコメント

子どもが好き、工作が好き、 実験が好き、子どもと工作や実 験をするのはもっと好き、そし て根気強く取り組むことをモッ トーとする。まさに絵に描いた ような教員希望の学生がいるこ とを大変頼もしく感じていると ころです。

受講者だより

技能研修講座 B より 2 講座を pick up

福井県海浜自然センター、福井県自然保護センターで開催され た技能研修講座Bに、上級 CST 受講者 3 名が参加しました。



講座で学んだこと

釣りなど水辺での活動中に、海に落ちた場合、 ライフジャケット着用時は80%以上の確率で助 かるが、非着用時は 10% 程度に落ちることを聞 き、着用の重要性を学んだ。

海のふれあ<u>い教</u>室 「マナーを守っ て海釣り体験」

2012. 10. 13

海浜自然センター

今後CSTとして活かしたいこと

教室に入ると今日のスケジュールが映されてい た。何気ないことだが、参加者は「次どうするん だろう」「この話はどれくらいあるのだろう」な どの不安をもつことなく活動に取り組むことがで きると感じた。日頃の活動に活かしたい。

講座で学んだこと

星の説明をするときは、緑色のレーザーポイ ンタを使用すると、光線がはっきり夜空の星を 指し、説明しやすいことを学んだ。

今後CSTとして活かしたいこと

図鑑や教科書に載っているような月の写真を 自分で撮ることは、難しくてできないことだと 思っていた。実際にやってみると天体望遠鏡さ えあれば、簡単に撮影できることがわかった。 自分で撮影してみたいと考える教員は多いと思 うので、今日学んだ撮影方法を伝えていきたい。



特別観望会 「月の撮影を しよう」

自然保護センタ-

平成 25 年 1~3 月のお知らせ

第2回福井CSTシンポジウム

日時 平成 25 年 2 月 16 日 13:10 ~ 18:00

福井大学 総合研究棟 I 13階

内容 講演 「全国学力・学習状況調査から見えてくること」 ポスター発表・ワークショップ・口頭発表 福井県および全国におけるCST養成、研修・実験講習活動、理科教材開発、授業実践など

事前参加申込は Web にて (PC・スマートフォン対応)

URL http://sympo.cst-fukui.net/



CST による講習会・研修会

1/10 実験講習会『小・中学校理科第3学期の内容』 (15:00~17:00) 「鯖江東小学校] [鯖江東小学校]

1/10 実験講習会『小6電気とわたしたちのくらし』 [武生東小学校] $(17.30 \sim 19.00)$

詳細・その他の情報は web サイトをご覧ください。

CST News Report No. 11

2012.12.28 発行

------編集・発行・<u>印刷</u>

福井大学 CST 企画運営事務局

〒910-8507 福井市文京 3 丁目 9 番 1 号

♠ http://www.cst-fukui.net/

福井 CST Q